

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
716	数量調整円滑化推進事業	会計	01	一般会計	
42	持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費	
		項	01	農業費	
		目	04	農業生産対策費	
		細目	101	生産調整推進対策事業	
		細々目	01	数量調整円滑化推進事業	
担当部課名	伊賀支所産業建設課				
作成者氏名	高島 幸生	連絡先	45-9119		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	・行政、JA、区長代表、農業者代表等で構成される伊賀地域水田農業推進協議会	・米政策改革大綱による米の生産数量調整事務が円滑になり生産調整が達成される。					
本年度事業内容	・行政、JA、区長代表、農業者代表等で構成される伊賀地域水田農業推進協議会へ転作確認事務を委託し実施した。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
	人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)	事業費(B)	979	979	979
	委託料	720	720	720
	その他	259	259	259
	合計(A+B)	3,139	3,139	3,139
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	979	979	
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	2,160	2,160	3,139	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
現地確認回数	回	24	24	24			
現地確認自動車借上げ台数	第	78	78	78			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
米の生産調整達成率(水稲作付率)	米政策改革大綱に対応するため、米の生産調整達成率の設定を指標とする。	%	92.8 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

従来、転作事務については、行政主体で24集落を回り確認を行ってきたが、平成17年度より伊賀地域水田農業推進協議会に米の生産調整を委託している。平成17年度については全集落において目標が達成されたが、平成18年度未達成集落が発生する可能性があるため、集落間での調整が必要となってくる。

評価	必要性	4	米政策改革大綱を踏まえ、需要に応じた米の生産調整達成のため、米の生産数量に関する事務を円滑に行うため引き続き実施する考えです。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		